

太刀山峰右衛門「太刀山峰右衛門書簡」

明治39（190

6）年8月9日

謹啓

其後は打絶えて御無

沙汰いたし甚だ失礼

仕候。昨今は又一入の暑

さにて御坐候処、御一同様

如何御過し被遊候や

奉伺上候。降而私も先

達て少々病氣之处、此

頃に至り漸く全快仕り、

当地へ出場、本日より土俵

をつとめ居り候間、乍

憚御安心被下度候。当

地本月初日五日間、次岐

阜大垣等経て大坂へ

参る筈にて御坐候。先は右

御伺迄申上候。尚時

節柄御自愛之程專

一に奉存候。 頓首 ■ ■

八月九日 太刀山峯右衛門拝

御旦那様